

要求案第二ノ車庫料ノ向題ハ事實財政ノ干渉ニ依リ全
部ノ車台ヲ収容シ得ベキ車庫ノ建設遷延シ居レルガ至
急適當ノ場所ヲ選定建設ノ意志ナルヲ以テ重役ノ誠意
ヲ諒トセシレタシ、而シテ概算金四千円ハ既ニ決算済ニ
付要求ニ應ジ難キモ爭議圓側ノ費用嵩ミ居ル事ト信ズ
ルガ故ニ二千円ヲ支出スベシ
第三ノ十一月分社費及償却金ノ納入逐次延期ニ因シテ
ハ會社ニ於テモ多額ノ負債アリ且ツ亦毎月一ヶ月分宛
残シ永久的ニ存置スル意味ト思科セラル、ガ故ニ應ジ
難シ

第四ノ車台増車ニ因シテハ創立當時ヨリ輕營業ヲ目的
トシ鉄道当局ヨリ九十四輛ノ許可ヲ受ケアルニ拘事

不振ノ爲メ自動車ノ購入ニ不可成ノ以總ニシテ現在七
十五輛ニ止マルノ之ナルガ時々當局ヨリ許可台數増充
方請ボアルヲ以テ増車ニ就テハ會社ノ窮狀ヲ諱トテラ
レタシ

亦亦今依ハ違取テノ意思ハ充分尊重スベク同業ノ
悲觀スルガ如キ事トヤリ係ス、ハノ不平ナル場合ハ直決
ニ直接申出ラレタシ
茲ニ對シ松尾副吉ヨリ

第一業ハ山川ハ會社側承認カレ、モ却テテ苦憤恨滿ト
ナリ決シテ不安ナシト信ズルガ故ニ直ニ削除シ能ハス
トスルモ何等カノ形式ニ依リ速カニ解決セラレタシ
同社費ニ就テハ月収八百圓以上ナル場合ハ現制度ノマ